

7

つきの事、
退せられた結局に認め、外府からべし
（以下）司支部——何等の第勤をし

二 旧社民系社大党

（一）八幡支部——選挙区八幡市

現勢代りにして九原会長兼北大党（旧社民）福孫書
記長に、伊藤卯四郎の面擁立に付、他共認
む、知名なり。然るに四月以来日鉄は、
り、伊藤一社を去り、其の意思あり、製鉄従業員
を唯一の地盤とする、今支部にとりては致命的

(所張出同福會調協)

8

の内題なる故、置に伊藤を去り、其の意思あり、製鉄従業員
本社に於し製鉄所の弊害を候補断念方を認
す、如あり。之如る日鉄側は、六月十七日立
候補断念の声明す、如あり。選挙情勢は、
頗る有利と存す。

伊藤の上京に際し、所産代、伊藤、井、貴、一、郎、及、本

部主、脇、部、と、選挙、対策、協、談、に、基、き、選挙、斗争、の、如
材、集、り、お、か、り、今日、満、州、国、情、況、視、察、概、本、党、勢、力、振
張、の、一、策、と、り、て、七月、上、旬、頃、より、約、二、週、間
の、予定、にて、視、察、に、向、し、帰、国、後、更、に、積、極、的、の、運、動

(所張出同福會調協)